

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス（証券コード：ー）

【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的

■格付事由

- (1) 神奈川県と埼玉県で事業展開する社会医療法人。23 年 9 月に創業 50 周年を迎える。急性期医療を手掛ける海老名総合病院（神奈川県海老名市/479 床）、ケアミックス型の座間総合病院（神奈川県座間市/352 床）、東埼玉総合病院（埼玉県幸手市/189 床）などを構える。2 病院がある神奈川県・県央医療圏での存在感は大きく、2 病院は地域医療連携推進法人さがみメディカルパートナーズの中核を成している。関連法人の静岡メディカルアライアンスは下田メディカルセンター（静岡県下田市/138 床）の指定管理を受託する。
- (2) 各拠点の運営は総じて順調で、キャッシュフローの安定感が増している。23 年 5 月に開業した海老名総合病院の新棟西館は円滑に立ち上がり、医療機能の強化に応じた人材の確保も進みつつある。新型コロナウイルス感染症に対しては、病床稼働の低下を抑制しながら、同患者を受け入れる態勢を構築してきた。西館の建設に伴い借入金が増えたが、好業績を背景に純資産の蓄積が進んでおり、一定の財務構成を維持できると考えられる。以上により、格付を 1 ノッチ引き上げ A-とし、見通しを安定的とした。
- (3) 本部機能やエリア別の運営体制は充実してきており、諸課題には PDCA サイクルの展開を通じて機動的に対処している。3 病院を軸に収益源は分散しており、近年はコロナ関連の補助金のプラス効果を差し引いても、利益を底堅く確保できている。海老名総合病院では、高機能病床を増やすとともに運営効率を高めており、増加する地域の医療需要への対応力が増している。24/3 期の期間損益は減価償却費の増加などで悪化する見通しだが、25/3 期には回復に転じる公算が大きい。各拠点の稼働の向上や上位の入院料の算定などに向けてスタッフのさらなる確保が重要と考えられ、その進捗が注目点となる。
- (4) 主要 3 病院の大型投資がおおむね一巡し、24/3 期は財務面への負荷が最も強まる時期となる。ただ近年、純資産の蓄積が急速に進んだこと、海老名総合病院西館の開業によりキャッシュフロー創出力が高まることから、中期的に一定の純資産比率を維持できると想定される。今後は海老名総合病院の本館の老朽化対応が視野に入るが、キャッシュフローの状況などを踏まえた対応がなされる予定である。財務基盤が大きく損なわれる懸念は小さいと考えられる。

（担当）小野 正志・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023 年 8 月 21 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：小野 正志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「医療機関」(2023 年 8 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル